

CosmoTechno 取扱説明書

DIRECT DRIVE

ダイレクトドライブ

MANUAL TURNTABLE SYSTEM

マニュアルターンテーブルシステム

型名 **DJ-3500**

目次

はじめに	1 使用上のご注意2~5
	2 取り扱い上のご注意6
	3 本機の特長7
	4 付属品について7
	5 保証とサービスについて7
準備	6 各部の名前とはたらき8、9
	7 組み立てかた10
	8 調整のしかた (1) 針圧・アンチスキッピングの調整11
接続	9 接続のしかた12
操作	10 操作のしかた (1) 演奏のしかた13
	その他



安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったら後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずよくお読みください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。



警告

■安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。



電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。



水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）



警告 つづき

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。



キャビネット（天板・裏ぶた）を外したり、改造したりしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



ACアウトレットのご使用は表示供給電力内で

接続する装置の消費電力の合計が表示供給電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。また供給電力内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具・ヘアドライヤー・電磁調理器など）は接続しないでください。



雷が鳴り出したら

アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



落としたり、キャビネットを破損した場合は

まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■取り扱いについて

風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

花瓶やコップ、小さな金属物をこの機器の上に置かない

万一内部に水や異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



使用上のご注意（つづき）

注意

■安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器・スピーカーなどの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。



電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■置き場所について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所



壁や他の機器から少し離して設置する

壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



使用上のご注意（つづき）



注意 つづき

■取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- ・あお向けや横倒し、逆さまにする
- ・押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- ・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線・機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



■使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



■お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。



5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまっただま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。



2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ 結露とは

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ 結露が起こる条件は

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、部屋の温度を暖房などで急上げたりすると本機内部の動作部に露がつき、正常に動作しなくなることがあります。

結露は、夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。



■ 結露後の処置は

結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1~2時間で使用できるようになります。

設置の際のご注意

- 放熱のため、壁から10cm以上離して設置してください。

FMやAM放送を受信している場合

- FMやAM放送を受信しているとき、本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。このような場合には、本機をチューナーからできるだけ離してください。

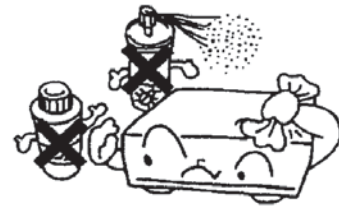
ステレオ音のエチケット



- ◎ 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- ◎ 隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- ◎ ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。

お手入れについて

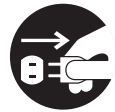
- キャビネットや操作パネル部分の汚れをふきとるときは柔らかい布を使用し、軽くふきとってください。
- ◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると変質したり変色することがありますので使用しないでください。



使わないときは

■ ふだん使わないとき

- ◎ 電源を切ってください。
- ◎ 外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



■ 移動させるとき

- ◎ 衝撃を与えないでください。



- ◎ 必ずレコード盤を取り出し、電源プラグをコンセントから抜いて、接続線を外したことを確認してからおこなってください。

3 本機の特長

1. 高起動トルク・クォーツロックダイレクトドライブ・ブラシレスDCモーター搭載
高回転精度・高耐久性に優れたクォーツロック・ダイレクトドライブを採用、また素早い正規回転数への到達、およびブレーキ時間短縮のため高起動トルクブラシレスモーターを採用しています。
2. ±10%/±20% ピッチコントロールの採用
ピッチスライダーにより、正規回転数に対し±10%/±20% の範囲内でピッチをコントロールできます。ピッチON/OFF ボタンにより、ピッチを変更した状態から一発操作で正規回転数に戻すことができます。
3. 回転数の正回転・逆回転の切替えが可能設計
セミプロフェッショナル用として使用の可能性を考慮し逆回転切替えが可能になっております、但し一般のレコード演奏では使用しないでください（レコード・カートリッジの破損の恐れがあります）。
4. 78回転対応
33回転、45回転の他に78回転にも対応しています。
5. 高級カートリッジの付属
VM型高級カートリッジ（オーディオテクニカ AT10 相当品）をヘッドシェルに取り付けてありますので、即高音質演奏が楽しめます。

4 付属品について

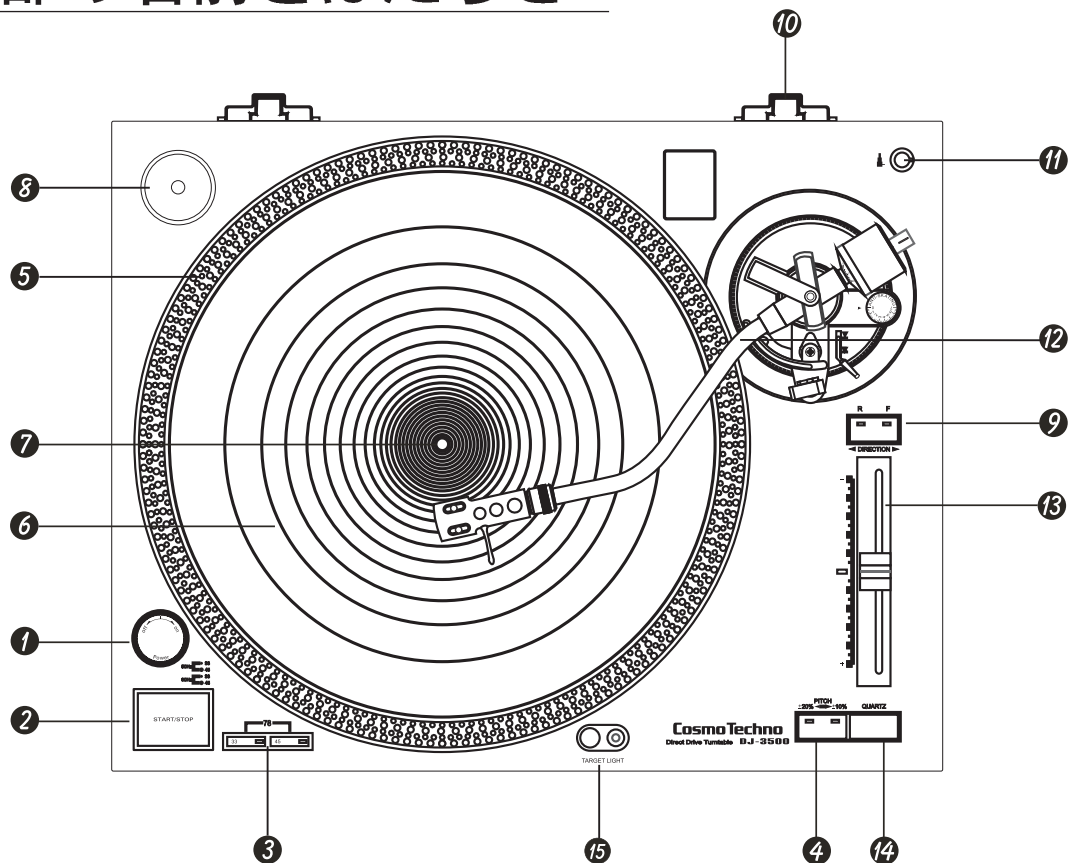
☆梱包箱の中には、本体とは別に下記の付属品が入っています。
ご使用前にご確認ください。

- | | |
|-----------------|---|
| ①取扱説明書/保証書(本書) | 1 |
| ②ターンテーブル | 1 |
| ③ターンテーブルシート | 1 |
| ④カウンターウェイト | 1 |
| ⑤45回転レコード用アダプター | 1 |
| ⑥カートリッジ付ヘッドシェル | 1 |
| ⑦電源コード | 1 |
| ⑧ダストカバー | 1 |
| ⑨ヒンジ | 1 |

5 保証とサービスについて

- (1) この商品には保証書が本取扱説明書の裏面に印刷されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- (2) 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理を申し受けます。（但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となります。）その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
- (3) 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- (4) 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- (5) 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社のサービスセンターにご相談ください。

6 各部の名前とはたらき



① 電源スイッチ (POWER)

- ・ 時計方向に回すと電源が入り、スピード切替ボタンとピッチ切り替えボタンのLEDおよびストロボライトが点灯します。
- ・ 電源を切るときは反時計方向に回します。

② スタート／ストップボタン (START/STOP)

- ・ このボタンを押すことにより、ターンテーブルが回転したり停止したりします。

③ スピード切り替えボタン (33/45/78)

- ・ 33 1/3回転レコード盤---「33」を押します、45回転レコード盤---「45」を押します。
- ・ 78回転レコード盤---「33」と「45」を同時に押します。

④ ピッチ切り替えボタン (20%←→10%)

⑤ 回転数ストロボ (回転数の目安となるストロボ表示です)

- ・ 電源周波数 50Hz : 33 1/3回転--最内周の小さな点、45回転--内周から2番目の大きな点
 - ・ 電源周波数 60Hz : 33 1/3回転--外周から2番目の小さな点、45回転--最外周の大きな点
- ご注意：家庭用電源の変動により、ストロボ表示の点が動く場合があります。

⑥ ターンテーブルシート (ターンテーブルの上へのせる)

⑦ センタースピンドル (レコードの中心穴を合わせる)

⑧ 45回転レコード用アダプター置場

⑨ ターンテーブル回転の「正・逆」切り替えボタン (DIRECTION)

- ・ F : 正回転 R : 逆回転 ご注意：逆回転の使用は一般レコード演奏時には使用しないでください (レコード、カートリッジ破損の恐れがあります)。

⑩ ダストカバー・ヒンジ取り付け部

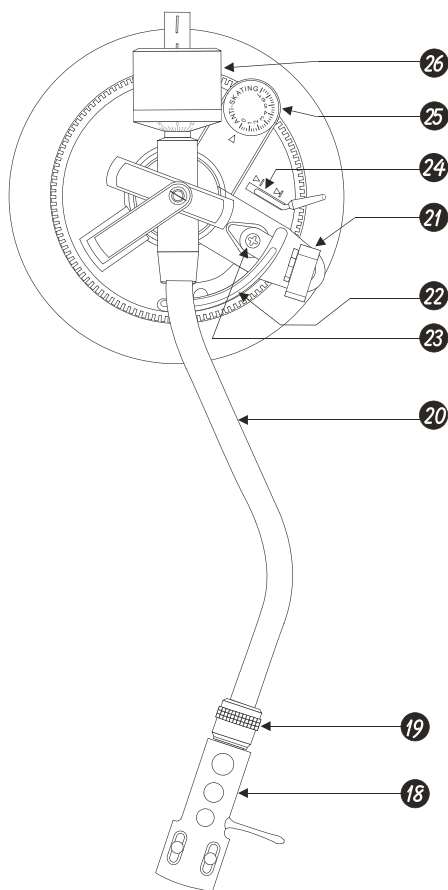
各部の名前とはたらき

- ⑪ ヘッドシェル・スタンド
- ⑫ トーンアーム
- ⑬ ピッチスライダー
・クォーツロックOFFにて回転速度ピッチを変える時に使用します
- ⑭ クォーツロックボタン (QUARTZ)
ON(LEDが赤色に点灯) 正規回転になります
OFF(LEDが緑色に点灯) ピッチスライダーにて回転速度が変更されます



- ⑮ 針先ライト
・右側のボタンを押すとライトがポップアップし、針先の位置を照らすことができます。消灯する場合は、ライトを下側に押し戻してロックします。

- ⑯ ダストカバー
- ⑰ ヒンジ
- ⑱ ヘッドシェル
- ⑲ ヘッドシェル・ロックナット
- ⑳ S字形トーンアーム
- ㉑ アームレスト&クランプ
・トーンアームの支持台です。移動時はクランプしてください。
- ㉒ リフターアーム
- ㉓ リフターアーム高さ調整ネジ

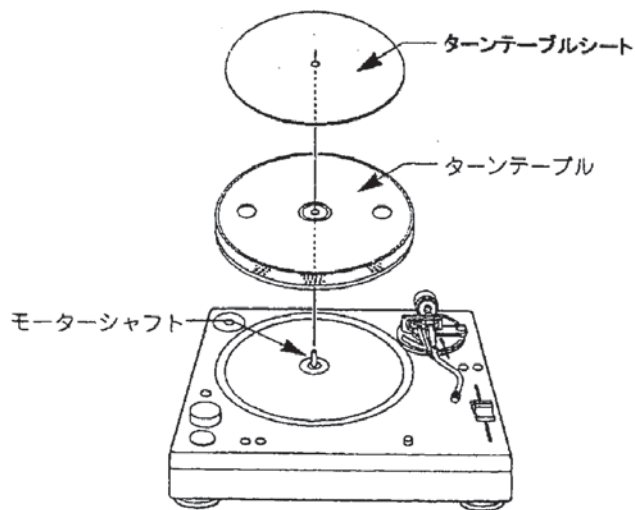


- ㉔ リフターレバー
・トーンアームを上下させるときに使用します
- ㉕ アンチスケイティングつまみ (ANTI-SKATING)
・レコード演奏時、針先が内周へ引っばられる力が発生しますが、このつまみを針圧と同じ数値にあわせることでその力を打ち消します。
- ㉖ カウンターウェイト
・トーンアームの水平バランスをとったり、針圧を調整するときに使用します。

7 組み立てかた

★組み立てが完了するまで、電源コードは接続しないでください。

(1) ターンテーブルの取り付け

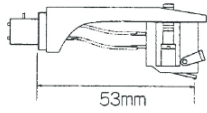


- 1 梱包箱の中から、すべての包みを取り出します。
- 2 本体および部品を包んでいる梱包材を取り除きます。
・梱包材を取り除くときは、床やテーブルなどに置いて安定させた状態で丁寧におこなってください。乱暴におこないますと、傷や変形の原因となります。
- 3 ターンテーブルをモーターシャフトに差し込みます。
- 4 ターンテーブルシートをモーターシャフトに合わせてのせてください。

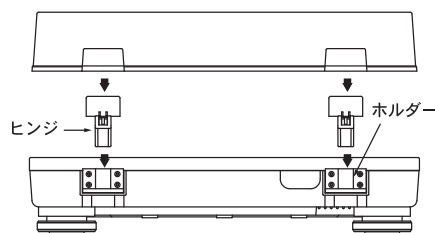
(2) カウンターウェイトの取り付け

- 1 トーンアームの後部軸にカウンターウェイトを取り付けます。

(3) カートリッジの取り付け

- 1 付属のカートリッジ以外を使用する場合。
ご使用されるカートリッジをヘッドシェルに取り付けます。
・ヘッドシェル部のリード線は色分けされていますので、カートリッジの表示またはカートリッジの取扱説明書を参照して、それぞれ対応するカートリッジの端子にピンセットなどを使用してしっかりと接続してください。
・下図のようにヘッドシェル取り付け端面（ゴムワッシャー部）より53mmの位置に、針先がくるようにカートリッジを取り付けると所定のオーバーハングが得られます。

- 2 カートリッジを取り付けたヘッドシェルをトーンアームに差し込み、ロックナットで固定します。

(4) ダストカバーの取り付け

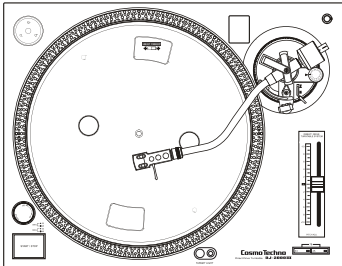
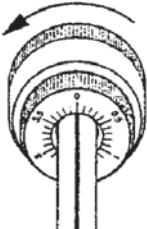
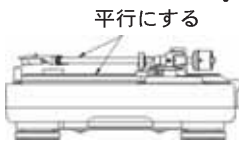



- 1 付属のヒンジ2個をキャビネット後部のホルダーにしっかりと差し込んでください。
- 2 ダストカバーの角穴をヒンジに合わせ、矢印の方向に十分押し込んでください。
・ダストカバーを取り外す場合は、ダストカバーをいっぱいに関け、矢印と反対方向に引き抜いてください。
※ダストカバーを取り付け・取り外しの際は、ヒンジの近くを持つようにしてください。

8 調整のしかた

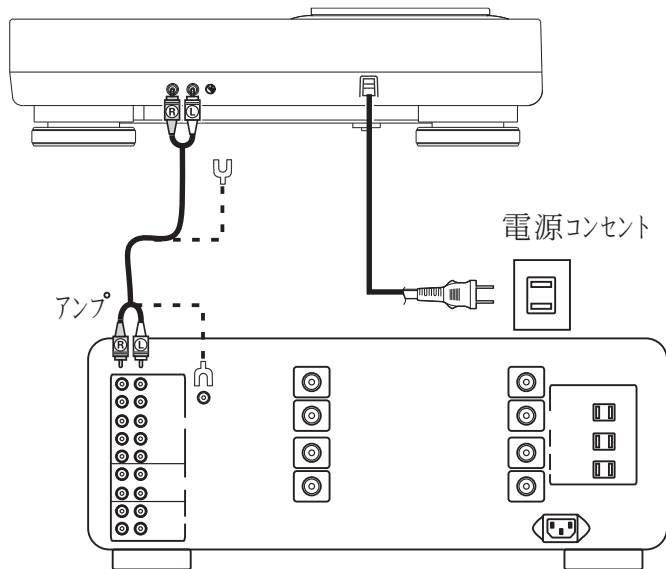
★ 調整をおこなうときは、電源を切ってください。

(1) 針圧・アンチスケーティングの調整

1	<p>アンチスケーティングつまみを「0」目盛に合わせてください。</p>	4	<p>トーンアームをアームレストに戻します。</p> <ul style="list-style-type: none"> トーンアームをアームレストから外しターンテーブルの上まで移動させます。
2	<p>トーンアームを移動します。</p> <ul style="list-style-type: none"> トーンアームをアームレストから外しターンテーブルの上まで移動させます。  <p>※ トーンアームを移動させるときは、針先が直接ターンテーブルなどに触れないように注意してください。</p> <p>※ 針カバーを取り外せるカートリッジの場合は、針カバーを取り外して調整してください。</p>	5	<p>カウンターウェイトが動かないように指で支えて針圧調整リングだけを回し、数字「0」をトーンアーム後部軸の中心線に合わせます。</p> 
3	<p>水平バランスをとります。</p>  <p>平行にする</p> <ul style="list-style-type: none"> カウンターウェイトを回して前後させ、手を離れたとき、トーンアームがターンテーブル面と平行になるようにします。 <p>※ 水平バランスを調整するとき、カートリッジの針先がスリップマットや本体に触れないようにご注意ください。</p>	6	<p>カウンターウェイトを矢印の方向に回し、ご使用のカートリッジの適正針圧値に合わせます。</p> <p>※ カウンターウェイトを回すと針圧調整リングも一緒に回りますので、調整リングを直読しながら適正な針圧に調整してください。</p>
		7	<p>アンチスケーティングつまみを回し、基準の矢印にカートリッジの針圧と同じ数値を合わせてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正なアンチスケーティング量が得られます。 

9 接続のしかた

★ 必ずご使用になるミキサーまたはアンプの電源を切った状態にしてください。



1	ピンプラグコードのL（白色）・R（赤色）をご使用になるミキサーまたはアンプのPHONO入力端子L・Rへそれぞれ接続します。
2	アース線（ピンプラグコードと一緒にになっている）をミキサーまたはアンプのGND端子（アース端子）へ接続します。
3	電源コードのコネクター側を本機の電源接続端子(AC IN)に接続します。
4	電源コードプラグをAC 100Vの電源コンセントへ差し込みます。 ・ 電源コンセントの電力容量が十分あることを確認してください。

10 操作のしかた

(1) 演奏のしかた

① 演奏を開始するとき

1	電源スイッチを時計向に回し、ONにします。
2	アンプの電源を入れ、セレクターを接続した入力端子にします。 ※この時ボリュームは、MIN（小）の位置にします。
3	ターンテーブルにレコード盤をセットします。 ※ドーナツ盤を演奏するときは、付属のアダプターをご使用ください。
4	スピード切り替えボタンを押して、レコード盤に合わせた回転数を選択します。
5	スタート/ストップボタンを押します。 ・操作 4 で選択した回転数で回り始めます。
6	リフターレバーを上げてヘッドシエルの指かけを持ち、トーンアームをレコード盤の演奏位置まで移動させます。
7	リフターレバーを下げます。 ・トーンアームがゆっくりと降下し、針先がレコード盤上におりて演奏を開始します。
8	回転数を調整します。 ・ピッチスライダーを動かすことにより±10%/±20%の範囲内で回転数を調整できます。 ・ストロボが右に流れる場合は、表示の回転数よりも遅く、左に流れる場合は表示の回転数よりも早く回っています。ストロボが止まっている場合は表示の回転数で回っています。

② 演奏を終了させるとき、および途中で中止させるとき

1	リフターレバーを静かに上げます。 ・トーンアームが上昇し、針先がレコード盤から離れます。
2	ヘッドシエルの指かけを持って、トーンアームをアームレストまで戻します。
3	トーンアームをアームレストに固定します。
4	スタート/ストップボタンを押します。 ・ターンテーブルの回転が止まります。

ご注意

- ・長時間使用しないときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- ・レコードを交換するときは、ターンテーブルが止まってからおこなってください。
- ・ターンテーブルが回転している状態でレコード盤を手で停止、あるいはスクラッチ操作する場合はスリップマットを使用してください。
ゴム製のマットを使用しているときに同じ操作をおこなうとモーターが故障する恐れがありますので、絶対におやめください。

11 故障かな？と思ったら

故障？ と思っても、もう一度確かめてみましょう

- 各接続は正しいですか
- 取扱説明書に従って正しく操作していますか

セットが正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は、本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きとり、お買い上げの販売店または当社のサービスセンターにご連絡ください。

現象	チェック項目	関連ページ
針先がレコード盤におりない。	<ul style="list-style-type: none">・ 針圧は正しく調整されていますか。・ アームの水平バランスがとれていますか。	11 11
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none">・ カートリッジとヘッドシェルの接続は正しいですか。・ 出力コードが正しくアンプに接続されていますか。・ アンプのつまみ類の調節、切り替えは正しいですか。	10 12 —
“プーン” というハム音が出る。	<ul style="list-style-type: none">・ 出力コードのアース線を接続しましたか。・ 出力コードのプラグは確実に接続されていますか。・ ヘッドシェルはロックナットでしっかり固定されていますか。	12 — 10
針とびを起こす。	<ul style="list-style-type: none">・ 針圧が適正針圧になっていますか。・ レコード盤がそったり、傷が付いたりしていませんか。・ 針先にホコリが多量に付いていませんか。	11 — —
アームが途中で進まない。	<ul style="list-style-type: none">・ レコード盤に傷が付いていませんか。・ アームが何かに当たっていませんか。	— —
音が小さい。または、大きい。	<ul style="list-style-type: none">・ カートリッジの種類（出力）に適したアンプの接続切り替えになっていますか。	—

12 主な仕様

■ターンテーブル部

駆動方式	クオーツロックサーボ式ダイレクトドライブ
回転数	33 1/3 rpm、45 rpm、78 rpm
ワウ・フラッター	0.15% wrms (JIS)
S/N 比	55dB (DINB)
ターンテーブル	アルミダイカスト 直径：330mm
モーター	ブラシレスDCモーター

■トーンアーム部

アーム形式	スタティックバランス S 字型アームパイプ
有効長	230.5mm
オーバーハング	16mm
針圧可変範囲	0~4.0g
適合カートリッジ自重	6-10g

■カートリッジ部

カートリッジ形式	VM型(オーディオテクニカ AT10相当品)
出力電圧	4.8mV
チャンネルセパレーション	25 dB
針圧	2.0 g
交換針	CTN-10G (コスモテクノ)
SP用交換針(参考)	CTN-10SP(コスモテクノ)

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	13W (電気用品安全法による)
寸法	450 (幅) x 157 (高さ) x 352 (奥行き) mm
重量	約10.6kg

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。

必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。

AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

CosmoTechno ターンテーブルシステム保証書

品名	ダイレクトドライブ マニュアルターンテーブルシステム	
型名	DJ-3500	製造番号
お客様	お名前	様
	電話番号	()
	ご住所	
お買い上げ日	年 月 日	
保証期間	お買い上げ日から1年間	
取扱販売店・住所・電話番号		

- ・本書は、記載内容の範囲で無償修理をさせていただくことをお約束するものです。
- ・保証期間中に故障が発生した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ・お買い上げ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております、「サービスセンター」にお問い合わせください。
- ・本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

「無料修理規定」

- 1) 取扱説明書、本体セットの注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い上げの販売店が無料修理いたします。
- 2) 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、また字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ニ) お買い上げ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
 - (ホ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ヘ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 - (ト) 消耗部品の交換。
 - (チ) 車両・船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
 - (リ) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
- 3) 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 4) この商品について直接メーカーへ郵送、または宅配便等で送付した場合の送料はお客様の負担となります。

★この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社 サービスセンターへご相談ください。

★保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

★修理メモ

販売元: **CEC株式会社** www.cec-web.co.jp
〒336-0018 埼玉県さいたま市南区南本町1-3-4
TEL: 050-5509-0795 / 048-710-6626 FAX: 048-710-6627

サービスセンター:
〒370-0535 群馬県邑楽郡大泉町寄木戸1316-5
TEL: 050-5509-0794 FAX: 0276-62-8341